

まとめ

以上、6つの調査項目について個別具体的な提案を行ったが、各調査項目については、市政の根幹に係わる重要項目との認識から相互に関連づけながら、短期あるいは中長期的な戦略をもって取り組まなければならない。

2025年には、新生古河市が誕生して20周年の節目の年を迎える。新たなステージに向けては、古河駅東部土地区画整理事業の公共施設とエンターテインメント性等を融合した、まちの賑わいを生む「街びらきビジョン」を早期に示し、残り58億円の合併特例債を最大限活用した、古河市全体への起爆剤となるプロジェクトの早期立ち上げを強く求める。

また、市長には、この提言を受けて、中長期的な戦略ビジョンに基づき、持続可能な地域社会の実現を目指し、ポストコロナを見据え、議会の意向も尊重しながら、その能力を十二分に発揮していただきたい。

最後に、古河市が「華のある都市（まち）古河」の実現に向け、輝かしい明日の古河市を創っていくことを願い、報告とする。



議論を重ねた特別委員会の様子

令和4年3月18日

明日の古河市を創る特別委員会
委員長 青木 和夫

明日の古河市を創る特別委員会

委員長	青木 和夫
副委員長	渡邊 澄夫
委員	鈴木 務
委員	高橋 秀彰
委員	佐藤 稔
委員	生沼 繁之
委員	落合 康之
委員	黒川 輝男